

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリー富士）

令和2年6月実施

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		今年度に入り、子どもの人数が増えたため、手狭に感じる事もある。 そのため、活動内容によってグループに分けて行っている。 また、コロナの影響により屋外活動ができないため室内活動が多くなってしまっている。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			現時点では支援中に事故や怪我もなく配置数は適切であると思う。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	賃貸物件の為、バリアフリーに改装出来ないのが現状である。 そのため車いすの対応はできない。 バリアフリーではないため、職員の介助工夫が必要である
業務 改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼時、終礼時に振り返りや反省、会社指示事項の共有は行っており、記録も業務日誌に記載している。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査を適宜行っている。 また、情報収集を送迎時に行い、意向を伺い意見交換を行っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自社ホームページにて公開をしている。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価を受けていない
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		研修へ参加はしている。しかし、今年はコロナの影響により研修自体が減少しているため参加の機会が少ない

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリー富士）

令和2年6月実施

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支 援 の 提 供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別計画策定会議（半年に1度）の合間に都度変化する保護者様のニーズに合わせて対応している。そのたびに個別支援計画へ追記している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートに沿った内容を面談時に聴取し、それをもとに個々に適したツールを作成し使用している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		活動内容などは各自で情報収集を行っているが、個々の意見に偏りがちなため、チームでの話し合いを設けることが今後の課題。保護者様のニーズに合わせた活動内容を立案するため、昨年同様今年もアンケートを実施する予定だったが、コロナの影響により予定が定まらないため試行していない。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			各児童の特性等に合わせ、将来役立つ活動内容を考えている。また、子ども一人ひとりの興味の度合いを鑑み、内容を適宜変更している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			きめ細やかではないが、必要最低限の確認事項は設定し支援している。また、1日のタイムスケジュールなどは毎日設定し、職員が全員把握できるよう配慮している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもに合わせた個別活動や集団活動を行い、保護者様の要望に変更があった場合等は周知徹底し、個別支援計画書を作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼は毎日行い、打ち合わせを行っている。しかし、職員間の伝達が不十分な時もあったため（朝礼不参加者など）、情報共有と引継ぎの方法を検討し徹底する。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼は毎日行っており、その日の反省改善点は業務日誌に記載している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日誌の記録は毎日とっている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別計画策定会議前に職員間でモニタリングを行っている。また、保護者との面談の際、可能な限り情報収集に努め、優先順位を明確化することで、放課後等デイサービス計画の、作成・評価・見直しに活かしている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			社会福祉事業との関わりは持っていないが、その他は組み合わせ支援を行えている。児童クラブへ出向いて見学や打ち合わせを行って話を進めているが、コロナの影響により実施時期が延期になっている	

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリー富士）

令和2年6月実施

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との 連携関係 機関や保護者との 連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		富士市ではサービス担当者会議の機会があまりないが、あった場合には職員全員へ聞き取りを行い、自発管や施設長が参画する。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			問題なく適切に行われている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な子どもの受け入れをしていない。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	就学前の情報は保護者様からの意見しか聞き取りできていない。今後積極的に情報共有に努めていくことが課題。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		情報の開示を求められれば、個人情報保護法の徹底を条件に提供はするが、今のところそのような機会はない。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要な場合にケース会議等行っており、可能な限り多くの研修にも参加している。しかし、地域性にもよるが、県内西部、中部とは方針が違い、まだセルフプランの方が多いため、なかなか連携がとりづらい。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		昨年に引き続き児童クラブとの交流会や児童館の利用を計画しているが、コロナの影響により実施できていない。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加できている。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や、電話でのやり取りにより情報提供し、情報交換しながら共通理解を図っている。
㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		児童や保護者の状況により助言提案等行っている家庭と行えていない家庭がある。	

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリー富士）

令和2年6月実施

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に滞りなく行っている。 また、変更や更新があった際には書面の配布や口頭説明を行っている。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			適宜必要に応じて保護者への助言や児童への支援を行っている。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現状は未実施。 今後保護者の意向を確認し検討していくことが課題。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付・解決責任者を置いている。意見や苦情はすぐに対応し、内容によっては持ち帰り、早期改善に向けて働いている。また、障害福祉課などにも相談している。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報を発行しており、予約表に行事予定なども記載している。
	③⑮ 個人情報に十分注意しているか	○			注意はしているが、甘さにより漏洩には至らないが危ういこともある為、職員同士の注意喚起がより一層必要だと感じている。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お伝えしても忘れがちの方には何度も声掛けをし、中々お会いできない方には何度も訪問しコミュニケーションをとり、日本語が伝わりにくい方には書類にルビをふるなど保護者様に応じて対応を行っている。
③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民との交流をとる為に、散歩のときなど挨拶を心がけているが、行事の招待等は今後の課題。	

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリー富士）

令和2年6月実施

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			全てのマニュアルを周知し、マニュアルの配布も行っている。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			3ヶ月に1度防災訓練（水害時・災害時・火災時）を行っている。 年に1度、富士西消防署に依頼し、消防署の方々を招き消防訓練も実施している。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		コロナの影響により研修の機会がなかったため参加できていない。今後研修が再開したら積極的に参加していきたい。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現在、日常的にやむを得ず身体拘束を行うような該当児童はいないが、どの児童にもあり得る突発性の拘束に関しては、今後、保護者様への説明と理解を得られた上で、個別支援計画への記載を早急に行っていく必要がある。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時に記入してもらったアレルギー情報に関しては周知徹底している。今後個別計画策定会議時（半年に一度）に毎回変更がないか確認を行っていく。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハット事例集は作成している。また、終礼時に口頭で情報伝達をしているが、書面として残してはいない為、今後対応していく。

令和2年6月27日実施